



鞠の浦学園だより

No.11
2023年(令和5年)10月4日



子ども達の主体的な学びに向けて

～主体性から自己肯定感，自立に向けて～

子ども達が植えたヘチマも校舎の3階まで伸び立派な実を实らせました。後期課程の生徒が育てている菊もつぼみをつけており，立派な花が咲くのが楽しみです。

学園での各活動もこれまで9年生が担っていた役割を後輩に引継ぎ，9年生は受験モードに入ってきました。

先日，研修会で横浜創英中学・高等学校の工藤勇一校長（前千代田区立麹町中学校長）の話を聞きました。この校長は著書「学校の『当たり前』をやめた。」からもわかるように，学校改革を進めておられる方です。

講演の中で，現在の日本の置かれている現状から，これからの世の中を生き抜き，世界を相手に活躍できるようになるためには，子ども達にどのような力をつけなければならないかということをお話されました。講演の内容を紹介します。



これまでの学校教育はある意味，管理教育であり，このことが子ども達の主体性を失わせてきた。これまでの教育から脱却し，子ども達の主体性を伸ばすことができる教育を行う必要がある。そのためにはまず，授業の在り方を変えていく。教師主導の教える授業から，児童生徒が主体的に学ぼうとする「子ども主体の学び」を創っていくことが大切である。こういう変革により，やらされる学習から自ら学ぼうとする学習に変え，わかることの喜びがやる気につながる。そういう経験を通して，子どもに主体性が身に付き自信となり，自らの夢や目標に向かう力となる。教育はそもそも勉強を教えることのみでなく，人を育てることが目的である。

このように教育改革をされておられる話を聞き，すごく刺激を受けました。本学園でも子ども達の成長のために何が出来るか，先生たちとも共有したところです。

我が子が自ら学びに向かうようになるためにはどうすれば良いか。ぜひご家庭でも考えてみてください。

見えるかな，見てみたいな，見てやるぞ！…学習は好奇心から！



3年生が一生懸命空を見上げています！遮光グラス越しに見る太陽は，いつもと何が違うのでしょうか？また4年生は，自分達が大切に育てた「ヘチマ」を包丁で割りました。種の並びや果肉の色…事前の予想段階からスケッチブックがにぎやかでした。教科書から飛び出して，自分の目で見て確かめて。子ども達の目は輝いています！

社会見学 (1~5年生)



2年生 カフトガニ博物館



1年生 福山市立動物園



4年生 平和記念公園



5年生 こども科学館



3年生 コカ・コーラ本郷工場

新人総体健闘



野球



男子卓球



女子卓球



女子テニス



男子バスケット